

# 残雪期・大山山行

2018年3月17日～18日

<参加メンバー> 5人(男性3人、女性2人)

<天候> 1日目 快晴、2日目 晴れ後曇り(登頂後頂上は霧の中となった)

## < コースタイム >

3/17

川西池田駅 8:00 発(マイカー利用) — 大山寺駐車場 12:00  
— 食堂で食事後 13:10 出発 — 大神山神社 13:42 — 元谷  
避難小屋 14:15 (テント泊)

3/18

幕営地 5:45 発 — 行者谷分かれ 6:30 — 六合目避難小屋 6:  
54 — 大山頂上小屋 7:52 — 弥山頂上 7:55 — 頂上小屋出  
発 8:30 — 行者谷分かれ 9:20 — 幕営地(元谷) 10:00 —  
テント撤収後出発 10:30 — 大神山神社 11:15 — 大山寺駐車  
場 11:50 — 豪円湯院で入湯、食事の後往路を戻る

## < 山行の概要 >

残雪期の伯耆富士・大山の自然を楽しもうと計画した。雪山入門セミナーのオプション山行として位置づけたが、受講生の参加がなかったのは残念であった。雪の大山北壁は迫力があって、夏道ルートといえども眺めながらの登山は充実感があった。今年は積雪量が多いと思っていたが意外と少なく、木の階段や木道は雪で埋まっていた方が歩きやすいのだが、あちこちで露出していた。

今回、元谷で幕営したが、大山寺駐車場から1時間程の行程で行けるので重量は重くなかったが、夕食は豪勢な牛肉と生野菜で焼き焼きとした。大変満足な食事であった。今回、大山で兵庫労山の仲間の会である武庫労山、摩耶山友会、神戸カタツムリの会の面々と出会ったが、この時期の大山は雪山として手頃であり、人気があることを示している。



1. 大山に行く途中で立ち寄ったビューポイント(大山は南壁側である)



2. 大山寺駐車場に到着 バックに北壁が見えている



3. 大神山神社の鳥居前を通過



4. 雪の参道を進む



5. 大神山神社に到着し、お詣りしてから出発



6. 雪がだんだん深くなってくる



7. ここを登り切れば元谷の堰堤



8. 元谷で出会った武庫労山の女性パーティーと一緒にパチリ



9. その2 大山北壁が素晴らしい



10. 北壁と元谷避難小屋(林の中にある)



11. テント設営後、最高のロケーションの中で乾杯



12. 夕食は豪勢なすき焼き



13. 翌早朝4時起きで、ストレッチして出発準備



14. 行者谷ルートは結構急登が続く



15. 夏道ルートとの合流点、行者谷分かれに到着



16. 雪の稜線を進む。振り返ると日本海が望まれる



17. 六合目避難小屋に到着



18. 弥山頂上が近づいてきた



19. 森林限界を過ぎ、隣の三鉢峰や北壁を眺めながら急登を登る。



20. もう少して頂上。この辺りから風が強くなってきた



21. 弥山頂上小屋に到着



22. 小屋に入らず、まずは頂上をめざす



23. 頂上で暫し景色を楽しむ。眼下は雲海となっていた



24. 頂上の銘板前でパチリ。この後雲がわかき上がって、ガスの中となった



25. 頂上小屋で暫し休憩の後、強風の中を下山開始



26. どんどん下っていく



27. あっという間に行者谷分かれに到着  
ここからまた激下りとなる



28. ブナの林の急斜面を慎重に下る



29. 傾斜が緩くなり、まもなく元谷



30. 林の中に元谷避難小屋が見えてきた



31. テントを撤収し、パッキングをして、さあ帰ろう



32. 雪が少なくなった元谷の堰堤の上を進む



33. 大神山神社まで下りてきた。ここであいぜん、スパッツを外して下界の人となる



34. 大山寺駐車場にまもなく到着  
これで今回の山行は無事終了となった